

農業

Agriculture

農業は、土、水、太陽エネルギーなどの自然力を利用して米や麦など穀物や野菜などを生産し、また、家畜を繁殖、肥育して、乳製品、肉、卵、皮革などを生産するなど、人間の衣食に必要な食糧・資材を生産する産業です。

voice
01

夢を叶えて、 農業の道へ



夏は忙しいものの収穫後は自由にできる時間を家族と過ごす蔵さん。このバランスが原動力になっています。

富良野市

蔵ファーム

蔵 恵一郎さん

2014(平成26)年就農

▶ビニールハウスは13棟。農協に出荷している品種のほか、糖度の高い「あまっこ」を栽培しています。

道東の十勝清水町に生まれ、小学3年から高校卒業まで山梨県で育った蔵さんは夏休みになると、富良野市の祖母の家へ遊びに来ていました。「高校を卒業したら北海道へ帰りたい」との想いから再び北海道へ。大学卒業後、会社員を経験して農業の道に。農業ヘルパーや研修を経て、富良野市で蔵ファームを始めました。

Q 農業を始めたきっかけを教えてください。

農業に縁のない人がゼロから農業を始める方法がわからなかったのですが、調べていくうちに、「JAふらの」の農業ヘルパー制度を知り、富良野市へ移住しました。

農業ヘルパーとして農産物に携わりながら地域の農業について情報を集めたところ、新規就農するなら、富良野市はメロンとミニトマトのどちらかを選択する傾向にあることがわかりました。農業ヘルパーの就業期間が終わるころ、以前から相談していた農業委員さんに現在の蔵ファームとなる農地をあっせんしていただき、ミニトマト農家として就農することができました。当時は農地を自分で探さなければならない時代でしたが、たまたま農業委員さんが営む農場で農業ヘルパーとして働いたご縁から現在があります。

Q 新規就農する方法を教えてください。

僕のころはありませんでしたが現在の富良野市では、「農業担い手育成センター」へ相談すると、いろいろな情報を教えてください、オンラインの就農相談会なども行っています。自治体それぞれに農業に関する相談窓口がありますので、まずは希望する市町村へ問い合わせることをおすすめします。

Q この先の目標を教えてください。

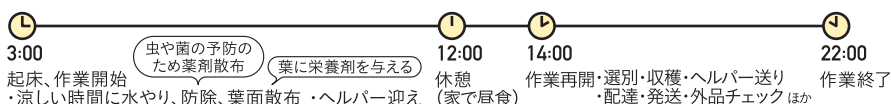
これからも園芸作物農家を継続し、できれば独自の販路を広げていきたいと考えています。

Q 高校2年生の皆さんへ、メッセージをお願いします。

高校卒業後すぐに新規就農するのは難しいと思いますが、大規模な農業法人に就職して経験を積むのもひとつの方法ですし、僕のように一度、農業以外の業種で社会へ出るのもいいと思います。若いうちに農業以外の世界を経験して社会勉強してから農家を始めると、将来的に視野の広い農業経営を行うことができるのではないのでしょうか。

農業経営するとなると、ビニール1枚、種1個、土1袋から農業機械に至るまですべて自分で支払わねばなりません。なにをするにしてもお金がかかることを理解し、新規就農するのであれば20代のうちにある程度基盤をつくるのがいいと思います。自治体の資金支援制度があるので相談してみましょう。

1日の
仕事の
流れ



繁忙期
7月・8月▶日曜日はしっかりと休み、10月以降の冬場は農閑期のため完全にオフ。

富良野市農業担い手育成機構での紹介



※令和3年(2021年)2月現在の内容を再構成したものです。